



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2017.7~2018.6]



国際テーマ

WE SERVE (われわれは奉仕する)

334複合地区スローガン

輝く未来へ進化するライオニズム・ウィサーブ

334-C地区スローガン

新たな100年へー全ての奉仕に光と愛を！

磐田ライオンズクラブ

スローガン ライオンズクラブ創立の心で新たな一歩

努力目標 CN60を成功させよう

2018 **6**

会長挨拶

本年度はCN60周年記念として資金獲得、YCE、植樹、環境記念碑などの特別の事業を企画しましたが、会員の皆様のご理解とご協力により見事に成果をあげることができました。

サツマイモ畑での作業、ふれあい広場や軽トラ市など参加者全員で頑張り、貴重な事業資金を捻出しYCE生の渡航費用としましたが、これは何十年ぶりの労力奉仕による資金獲得事業であり、大きな意義がありました。

20年ぶりのYCE派遣も実現できました。一般から募集の15名で選考を行い、広い視野での社会的奉仕が期待できる優秀な3名を決定しました。この事業により「ガバナー特別賞」を受賞しました。受賞理由は「地元の青少年3名をYCEプログラムにより海外に派遣、青少年の健全育成と国際協調への尽力を評価して」とのことで、60周年を飾るクラブの栄誉となりました。

気がかりだった式典も、練り上げられたシナリオとリハーサル、沈着なスタッフのおかげで大成功に終わりました。ライオンズクラブの人的資源のすごさを再認識させられましたが、これら成功のすべては会員一人一人のライオンズムの賜物です。支えて頂いた全会員の皆様、事務局さんに心より御礼申し上げます。

一年間本当にありがとうございました。



会長
L.高塚昌一

CN60周年記念式典

CN60実行委員長挨拶

皆様の御協力を賜りましたお陰でCN60周年記念式典も無事に執り行う事が出来ました。各事業部会長の強力なリーダーシップのもとで様々な記念事業、記念式典準備が行われ、記念式典ではその成果を披露させて頂きました。お陰様で他クラブからも高い評価を頂き、改めて磐田LCのチームワークの良さ、潜在能力の高さを痛感させられた次第です。特に記念事業部会では当クラブ初の試みでありました資金獲得事業にチャレンジし、得られた収益金額以上にメンバー同士の絆がより深まった事は大変有意義であったと思います。またYCE派遣生も一般市民から15名の応募があり最終的に3名選考させて頂いたのも周年事業だからこそ出来た事であると思っています。記念式典の準備では委員会メンバーの喧々諤々の議論の中で進められましたが、結局は委員会の後の反省会（飲み会）で酒の力を借りて最終決定されるという事も度々でした。私にとりましては大変貴重な体験をさせて頂きました。また皆様方にとりましても記憶に残る楽しい1年間であったなと少しでも感じて頂けたならば幸甚であります。CN60周年記念大会に御協力賜わり、誠に有難うございました。改めて感謝申し上げます。



CN60実行委員長
L.山内盾夫



来賓・LC関係者のお出迎え



控室から式典会場へ



会食&アトラクション



開会の挨拶 L.高塚昌一

総務・記念誌部会長として

まずもって磐田クラブCN60周年の記念すべき節目の年に一メンバーとして在籍出来ていたことに感謝致します。

世の中が大きく激動している環境に、本業でしっかりと対応し、その傍らでライオンズクラブの親睦・奉仕活動に参加してゆくのは並大抵のことではないと思います。

総務・記念誌部会はCN60周年記念式典に際し、来賓やキャビネット役員を始めとする招待者名簿の作成から記念品や感謝状の準備を担当させて頂きました。総務部会メンバーの協力でスムーズに事が運びました。また、記念誌につきましては幸い印刷の専門家であるL. 斉藤道夫を筆頭に担当の皆様へ何から何までお任せでお世話になりました。

式典後の集合写真がルームの壁に飾られ、磐田クラブの一コマとなるでしょう。

総務・記念誌部会長 L.青島克樹

記念式典部会長 報告

式典には172名の皆様が御参加頂き、大盛況のうちに終わることができ、その後の感想では「格調高いコンサート、スマートな運営、無駄の無い進行、考え尽くされたタイムテーブル、もてなしの心遣い、心から感銘、感動しました」お世辞半分としても大変嬉しいメッセージを頂きました。あるクラブからはシナリオを載きたい、との要望も有り送信しておきました。メンバー全員が一致団結した協力のお陰であり、また今後65、70周年と続くCNへ若手メンバーの体験を生かして素晴らしい式典が開催されることを確信しております。有り難う御座いました。

記念式典部会長 L.鈴木和男



スポンサークラブの浜松ホストLCへ感謝状



歓迎の挨拶 実行委員長 L.山内盾夫

静岡新聞（4月16日）



CN60記念事業を振り返って

まずはこの一年間、多くの奉仕に共に取り組んでくれた会員全てに心よりの感謝を申し上げたい。

奉仕の理念や意義を広く説明し、市民の賛同を得て獲得した資金で奉仕を行うのがライオンズの奉仕の本来の形である。日本では資金獲得事業は難しいと敬遠されてきたが、この原点回帰こそが、「ライオンズ創立の心で新たな一歩」という今年度のスローガンに対するCN60記念事業部会が出した答えだ。

資金獲得事業で得た資金を加えて、一般公募から選ぶ磐田の青少年を複数名、海外に派遣するという難題への挑戦が始まった。

薩摩芋の植付、除草、収穫、焼き芋や薩摩芋を使ったお菓子作り、販売……やり慣れない事の連続で精神的・体力的に大変な時もあったが、何よりも一緒に活動する事が楽しかった。会員の意識改革、結束の強化という意味で、実際に獲得した資金以上に得られたものは大きかったと感じる。

CN60記念事業部会長 L.堀内 豊

YCE派遣生について

皆一般公募で複数名派遣。当初簡単に考えていましたが、甘かったと思い知らされました。二十数年ぶりの派遣で流れが解らず、地区からは次々と情報がくる。募集も順き9月で応募無し。各校長や語学機関に何度も伺い15名を確保するも今度は選考にひと苦勞。全員面接するも選びきれず喧々譁々。なんとか3名を選び地区で無事承認されました。式典にて多くの人の前でも堂々とした彼女達を大変誇らしく感じられました。このチャンスを生かし切ることを切に願います。

青少年YCEクエスト委員長 L.村松正浩

記念アクティビティの紹介：L.堀内 豊



高木大原線に街路樹50本植樹



ライオンズパークモニュメントを一新



協力を頂いた団体へ感謝状の贈呈



磐田ライオンズクラブ会員表彰



YCE生への委嘱状授与

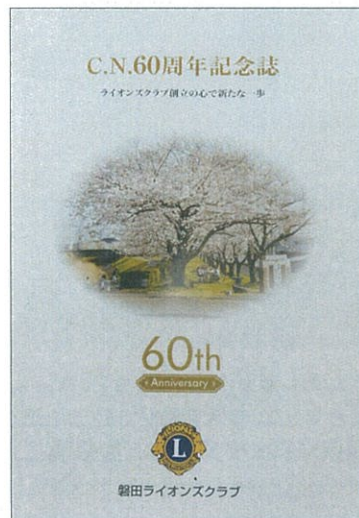


静岡新聞 (3月16日)

CN60周年記念誌を編集して

記念誌を作成するにあたり一番心配した事は過去のデータ(映像)がどこまであるかと言うことでした。案の定、数年前までのデータは皆さんのご協力もありスムーズに集めることが出来ましたがそれ以前のものは大変苦勞しました。表紙を飾るライオンズパークの写真は天候も味方してくれ、満開の桜の下、お花見を楽しむ親子連れ等の自然のモデルにも恵まれ磐田ライオンズクラブの目指す地球にやさしく地域に根ざした奉仕の結果のワンシーンとしてとても満足のいく1枚になったと思います。

総務・記念誌部会 副部会長 L.齋藤道夫



ライオンズ・ローア L.飛田紗有李



閉会のゴング L.高塚昌一



サプライズタイム①



サプライズタイム②



CN60記念式典終了後の懇親会



アクティビティ・例会より

ふじのくに防潮堤植樹祭 2月24日

ライオンズパーク草刈り 3月17日 中部電力磐田営業所の皆様と合同で実施



静岡産業大学の留学生と鮫島海岸の清掃 5月19日



鮫島海岸清掃

5月19日(土)に静岡産業大学の留学生を中心とした学生達と合同で、鮫島海岸の清掃活動を行いました。天候が心配されましたが、当日の朝には雨が上がり、心地よい初夏の海風の中、総勢39名の参加者のご協力により無事、清掃活動を行うことができました。清掃後のお昼には、竜洋海洋公園内のしおさい竜洋バーベキューテラスにて学生達と一緒に食事をしながら楽しい時間を過ごし、交流を深めることができました。ご協力ありがとうございました。

環境福祉委員長 L.古田 康隆

いわた大祭り 献血活動 4月28日



4月28日(土)いわた大祭りにあわせて献血九九活動を行いました。当日は晴天で暑い一日となりました。31名のメンバーに参加頂き、献血の必要性を説明しました。その結果献血の受付84名、献血をお願いした方69名となり、目標の99名にやや届きませんでしたが、メンバーの協力に感謝し、今年も良い奉仕活動ができたかと思えます。

献眼献腎献血委員長 L.加藤 克巳

新会員より一言



L.鈴木直樹

60年というとても長く歴史と伝統のある磐田ライオンズクラブへこの度入会させていただき誠にありがとうございます。今後は様々な奉仕活動に積極的に参加させていただき、一日でも早く活動に慣れたいと思います。先輩の皆さま方、若輩者ですがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

編集後記

MC委員長
L.河原崎 誠

CN60周年記念式典を中心とした内容としました。実行委員会の皆様にはこの1年お疲れさまでした。この1年間、皆様のご協力を頂きWe serveを無事発行することが出来ました。この1年で初めての「新会員より一言」欄です、来期は毎号この欄が見られるよう期待しています。